

今年度は「自然」をテーマに、
子ども達の興味・関心に応じた探究活動をしてきました

ちゅういっぷ組、すみれ組

花の水やりをしたよ



おみずどうぞ



いっぱいいのでね!



こっちのおはなにもあげよう!



おへやにかざるよ



おへやにかざるよ

すみれ組 虫眼鏡で見てみたよ

はっば、おおきいね！



いっぱいみえる！



おはなだ！



ダンゴムシいるかな？



なんのやさいかな？



さくら組(年少児) 砂の感触を楽しみました



どんな形になるかな…



お水使うと
ドロドロ～



斜めにしたら
まだお水すくえるよ

さらさらの砂だ



裸足もきもちいいね！！



フールが出来た！



こすもす組

虫眼鏡で自然を観察したよ

上手に育つかな…



虫がいたよ!

大きく見えるね



土の中には何かいるかな?



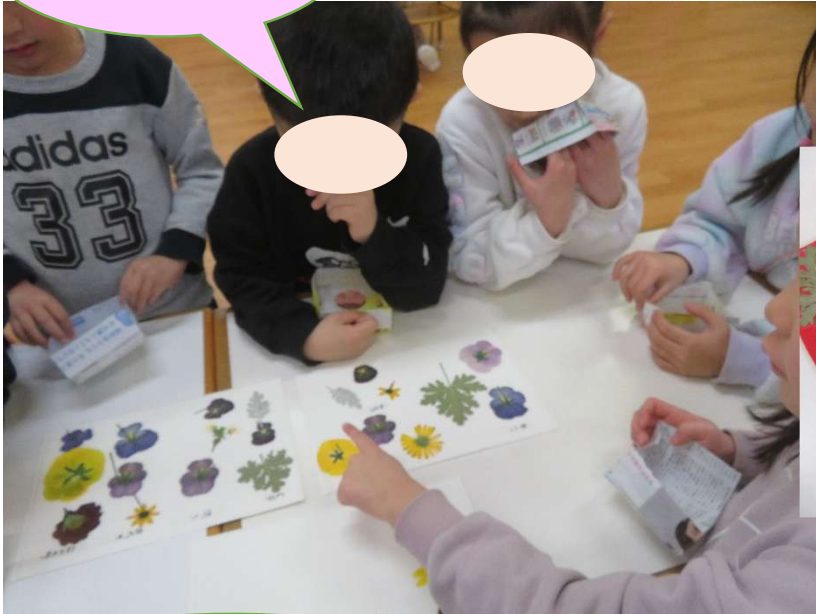
公園にはどんな葉っぱがあるかな



ミミズだよ!

咲いてるお花と
全然違う…

きく組 押し花で作品を作ったよ



こんなに薄くなったよ!

不思議なおい…



どんな風にしようかな…



できあがり!!!



(年長) 押し花づくり	(年中) 植物の世話、観察	(年少) 砂場遊び
1月2月6回実施	11月12月6回実施	12月2月6回実施
振り返りによって得た先生の気づき		
<p>《ねらい》草花の形、色、質感に気付き、自然の美しさや季節の変化を感じる。自然物を丁寧に扱う経験を通して、感性や共感性を育てる。自分で選んだ自然物を使って作品を作ることで、創造性と自己肯定感を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「押し花」という技法を子ども達に紹介する。「聞いたことある!」と関心を持って話を聞いていた。自分たちが作ることに楽しみにする様子が伺えた。 ・自分で花を摘む時は、「この色が好きだから」「こんなに大きいお花でもできるのかな」と気になることや感じたことを言葉に出して摘んでいた。 ・花を洗い、台紙に花を挟む時は、本当に押し花が出来るのか、想像がつかない様子が見られた。「草の匂いがする」「虫がついてた」などよく観察している様子があった。 ・数週間後、完成した押し花を見て「べらべらになってる」と大興奮でその様子を観察していた。 ・押し花から葉を作る子、飾りを作る子、そのまま持って帰る子様々な方法で押し花を楽しむ姿があった。 	<p>《ねらい》身近な自然に興味を持ち、観察する楽しさを感じる。虫眼鏡を使うことで、新たな発見、驚きを味わう。自然に対する探求心を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの考える自然について話合った。「木、石、草、風、花、砂」など普段園庭や公園で見られる自然が上げられ、身近に感じている様子であった。 ・虫眼鏡を紹介し、使い方を伝える。園庭で気になるものを観察すると、土を掘り返してみたり、プランターにある草花を見る姿が見られた。また園庭の砂も観察していた。「葉っぱに毛が生えているね」「砂が光って見える」など、普段は見えないところまで見える事に楽しさを感じている様子だった。 ・土を掘り返してミミズが出てきた。観察すると「体がシマシマだった」「顔が見えた」と興奮した様子で観察していた。 ・花を子ども達と花壇に植える際には、土の感触を楽しみ、土や花の根も観察していた。じょうろで水やりをすることで、水が付いている花や草も観察していた。 	<p>《ねらい》五感を使いながら砂の性質を知り、砂の感触を楽しむ。自然物と関わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい砂を入れると、「さらさらだね」「白いね」と感じたことを話していた。手を潜らせてみたり、手で掬って指の間からこぼれる砂をじっと見つめる様子が見られた。いつも使っている砂とは違う認識を持っていた様子で、子どもの遊び方に変化が見られた。 ・「冷たいね」と温度を感じた子どもが、裸足になって砂の感触を確かめていた。その様子を見た他児が魅力的に感じた様子で、次々と裸足になり、砂の感触を楽しむ様子が見られた。 ・手や足で砂を掘ると「茶色い砂が出てきた」「色が違うね」と次第に砂の色が変化していくことに気が付いた。 ・新しい道具を使うことに夢中になり、型抜きしたり、スコップで穴を掘ったり、バケツに砂を集めたりと次々に色々な道具を使う姿が見られた。 ・「お水使わないの?」という声があったため、バケツ1杯の水を入れた。「サラサラ砂と水砂ができたね」「お水もっと欲しい」 ・タライに自由に使える水を用意した。一人で遊んでいた子ども達がお水を使うことでみんなで一緒に遊ぶ姿が見られた。

(2歳児) 虫眼鏡を使って自然物の観察	(1.2歳児) 花の水やり	
11月3回実施	3月3回実施	
振り返りによって得た先生の気づき		
<p>≪ねらい≫虫眼鏡での観察を通して、普段と異なる視点からの子ども達の興味関心を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡という新しい道具にはよく興味を持っていた。 ・虫眼鏡を使って自然物を見ると「おおきくなったね」と拡大されて見えることに気が付いた。 ・草花の観察時には「むらさきだね」「オレンジだね」「(花が) いっぱいあるね」「あながあいてる」と細かい部分まで見ることができた様子の感想が挙がっていた。 ・2歳児が観察している姿を見て1歳児も真似して取り組み始め、「みて」「みえるよ」と様子を共有していた。 ・虫眼鏡を通して見える景色に興味を持ち、「次はこれ見たい」などの声が多く挙がった。 ・室内で水槽のメダカを見た際には、より興味を持って長い時間観察しており、動いている生き物の観察も興味を引く活動であるようだった。 	<p>≪ねらい≫花壇の花の水やりや世話を経験し、身近な自然と関わることで自然への興味関心を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かが水やりを始めると「自分も」と始める子が多く、魅力的な活動だった様子。 ・花に水がかかる様子を見て「水だね」と水をあげられたことに気付いていた。土に水が浸みるよりも分かりやすいようだった。 ・「いっぱい飲んでね」と花を擬人化して捉えているような発言も聞かれ、花が喜ぶ水を与えてあげていることを楽しんでいた。 ・花壇に並んだ花は、1.2歳児の目線的にも見やすく、じょうろで水をあげやすい高さなので、保育士の手を借りずに自分の力だけで行えたのも嬉しかったようだった。 ・花壇の花を保育室の中に飾る活動にも繋げることができ、植物の世話や花瓶を飾る場面では、誇らしげに取り組む姿が見られた。 	